

令和6年度(2024年度)

第1回熊本県立美術館協議会

令和5年度(2023年度)

# 熊本県立美術館事業報告

ア	展覧会活動について	P 2
イ	入場者の推移について	P 19
ウ	教育普及活動について	P 20
エ	美術品収集について	P 24
オ	永青文庫振興基金事業について	P 29
カ	改修工事について	P 31

## ア 展覧会活動について

### I 常設展

#### 1 第I期コレクション展

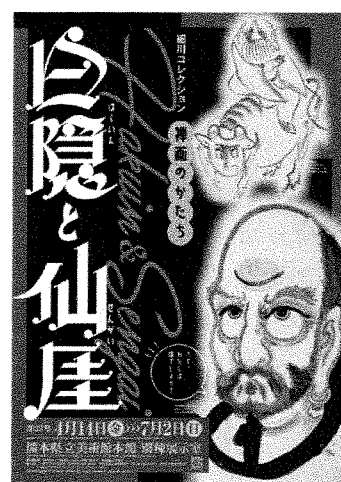
入館者 別棟：2,965人 本館2階：3,192人 計6,157人

[細川コレクション]

#### 白隠と仙厓

会 期 令和5年4月14日(金)～7月2日(日)  
会 場 本館別棟展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
入館者数 2,965人  
担 当 者 金子 岳史  
内 容

永青文庫には、白隠や仙厓による禅画のコレクションが豊富にある。近代の美術品のコレクターとして名高い細川護立は、10代の少年期に、肋膜炎を患い病床に伏していたとき、白隠が著した『夜船閑話』に出会い、感銘を受けたことがきっかけで、白隠の書画を収集するようになった。また、護立は白隠の収集を進めるうちに、仙厓の作品にも出会い、併せて買い求めた。白隠や仙厓の、機知に富み、ふと考えさせられる要素も含んだ作品は、現代の我々の心に響くものであろう。本展では、白隠と仙厓の作品を中心に、禅画の世界を紹介するもので、当館の細川コレクション展では初めての企画であった。



[美術館コレクション]

**第1室 細川家の歴史と美**

**第2室 熊本の工芸と近代絵画**

**第3室 近現代洋画と西洋絵画**

会 期 令和5年4月11日(火)～6月25日(日)

会 場 本館第2展示室

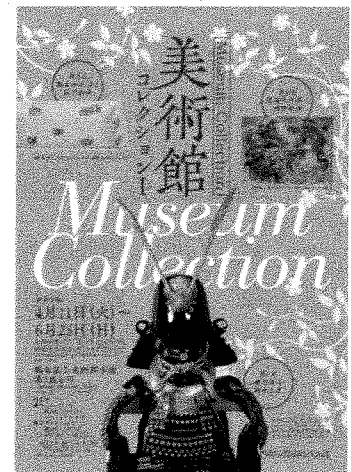
主 催 熊本県立美術館

入館者数 3,192人

担 当 者 才藤 あずさ、香月 比呂

内 容 令和5年度の美術館コレクション展では、細川家伝来の甲冑、大名道具、屏風絵や、熊本ゆかりの書画や工芸、近代美術、西洋絵画など、当館の幅広いコレクションを4期に分けて紹介。第1期では、「細川家の歴史と美」、「熊本の工芸と近代絵画」、「近現代洋画と西洋絵画」の3室に分けコレクションの魅力を紹介した。

「細川家の歴史と美」では、当館に寄託された公益財団法人永青文庫所蔵の美術工芸品の中から細川家当主の甲冑や野外で飲食する際に用いられたきらびやかな提重、桜花文をあしらった女性の調度などを展示し、華麗な大名文化を紹介した。「熊本の工芸と近代絵画」では、熊本の刀剣と陶磁器の他、近代日本画の名品を展示。「近現代洋画と近代絵画」では、熊本ゆかりの画家たちの作品によって熊本近現代の美術動向を辿るとともに、当館所蔵の西洋絵画を併せて紹介した。



**関連行事**

◆学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日(日)、5月14日(日)、28日(日)、6月11日(日)、25日(日)

◆かぞくでアート☆

日時：5月7日(日)、6月18日(日)

講師：福田 友子、藤本 真緒(当館学芸員)

参加者数：22人

◆ミュージアムセミナー

日時：5月20日(土)

講師：才藤 あずさ(当館学芸員)

参加者数：30人

## 2 第Ⅱ期コレクション展

入館者 別棟：3,415人 本館2階：2,599人 計6,014人  
[細川コレクション]

### 親子でみる美術展 二の丸☆バードウォッチング！

会 期 令和5年7月19日(水)～10月1日(日)

会 場 本館別棟展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

入館者数 3,415人

担 当 者 宮川 聖子、福田 友子、藤本 真緒

内 容 細川コレクションの特集として「二の丸☆バードウォッチング！」を開催し、本展では皆さまにとって身近な存在である“鳥”に注目した。古来より人々は、鳥のさえずる美しい音色に耳を傾け、また色鮮やかな姿に魅了され、吉祥的な存在、あるいは神聖なモチーフとして表現してきた。展示室には、美術工芸品や歴史資料の中より、“かわいい鳥”から“伝説上の鳥”に至るまで、多種多様な鳥にまつわる作品を一堂に展示した。

また作品鑑賞の助成となるよう、教育普及と連携してワークシートを作成し、展示レイアウトについても観覧者の参加型の展示空間を創出した。例えば、展示室の水先案内人の「鶏」を半立体的にパネルで作成し、展示室の随所に設置して、鑑賞のポイントを示した。また美術作品を活用したクイズを作成し、バードウォッチングの世界に入り込めるよう、双眼鏡や帽子の貸出等も実施した。



[美術館コレクション]

**第1室 細川家の歴史と美**

**第2室 熊本の美術**

**第3室 熊本の戦後美術**

会 期 令和5年7月15日(土)～9月10日(日)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館

入館者数 2,599人

担 当 者 才藤 あずさ、林田 龍太

内 容 令和5年度の本館コレクション展では、細川家伝来の甲冑、大名道具、屏風絵や、熊本ゆかりの書画や工芸、近代美術、西洋絵画など、当館の幅広いコレクションを4期に分けて紹介。第2期では、「細川家の歴史と美」、「熊本の美術」、「熊本の戦後美術」の3室に分けコレクションの魅力を紹介した。

「細川家の歴史と美」では、当館に寄託された公益財団法人永青文庫所蔵の美術工芸品の中から、甲冑や馬具をはじめとした細川家の武具や、華やかな婚礼調度、衣裳や絵画などを展示した。また、「熊本の美術」では、熊本出身の漆芸作家・高野松山、増村益城の手掛けた漆工品や、熊本のコレクター・今西菊松氏が収集した今西コレクションの近代工芸を紹介。「熊本の戦後美術」では、令和4年度に収集した美術品を軸に、熊本の戦後美術の流れを紹介した。



関連行事

◆学芸員によるギャラリートーク

日時：7月23日(日)、8月13日(日)、27日(日)、9月10日(日)

### 3 第Ⅲ期コレクション展

入館者数 別棟：3, 169人 本館2階：1, 118人 計4, 187人  
[細川コレクション]

#### 金石之交 微笑みのみほとけと細川コレクション

会 期 令和5年10月7日(土)～12月24日(日)  
会 場 本館別棟展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
入館者数 3, 169人  
担 当 者 萬納 恵介  
内 容

日本には紆余曲折を経て様々な国の金銅仏や石仏が伝来しているが、なかでも細川コレクションには中国を中心に美術史上貴重な作品が多い。それらは、高名な美術品コレクターでもあった細川家第16代当主・護立が蒐集したものである。護立のコレクションには、神秘的な微笑みが魅力的な《石造菩薩半跏像》や、現存する数少ない中国・南北朝時代(4～6世紀)の南朝で製作された仏像の一つ《銅像如来坐像》をはじめとした美術史上、極めて価値の高い一級品が含まれている。これは、護立が普段から積極的に様々な分野のスペシャリストとの交流をもつことで審美眼を養い、同時に彼らとの間に結ばれたネットワークを生かしていたからだった。



人と人との間に結ばれた固い絆は、金属や石にたとえて「金石之交」と称することがある。そして、金属や石は完全な存在とされた仏を製作するのに格好の素材でもあった。

本展では、細川護立が蒐集した石仏や金銅仏を展示し、それぞれの美術品としての美しさだけでなく、細川護立を取り巻いた人的ネットワークの豊かさを紹介した。

#### 関連行事

- ◆ミュージアムセミナー  
日時：12月9日(土)  
講師：萬納 恵介(当館学芸員)  
参加者数：14人

[美術館コレクション]

**第1室・第2室 細川家と熊本の絵画**

**第3室 近現代の絵画**

会 期 令和5年11月21日(火)～12月24日(日)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館

入館者数 1,118人

担 当 者 藤本 真緒、金子 岳史

内 容 美術館コレクション展では、当館のコレクション

を4期に分けて紹介した。秋から冬にかけての第Ⅲ期は、作品にあらわれる「かたち」に注目し、以下のとおりに展示を行なった。

第1室・第2室では、細川家と熊本に関する近世絵画、とりわけ屏風絵を中心に、岩のかたち、花のかたちなどテーマごとに紹介した。

第3室では、坂本善三ら熊本ゆかりの作家が手掛けた、近現代の絵画を中心に展示。彼らの作品に現れる「気になるかたち」に注目した。鑑賞者それぞれが「見えたかたち」から想像を膨らませ、自由に鑑賞を楽しむ教育普及の要素を取り入れた。第3室では、展覧会に合わせて「気になるかたちビンゴ」を実施。出品作の一部をシルエット化し、かたちを探しながら展示を楽しむことが出来るビンゴカードを作成した。また、ギャラリートーク(期間中3回実施)では対話型鑑賞を取り入れ、参加者と会話しながら30分で2作品を鑑賞するプログラムを行なった。



関連行事

◆学芸員によるギャラリートーク

日時：11月26日(日)、12月10日(日)、24日(日)

◆かぞくでアート☆

日時：12月17日(日)

講師：福田 友子、藤本 真緒(当館学芸員)

参加者数：10人

## 4 第Ⅳ期コレクション展

入館者 本館2階：3,072人  
[美術館コレクション]

### 第1室 細川家の歴史と美

### 第2室 近代日本画

### 第3室 (小企画展) ストーリーズ 一物語る版画たち

会 期 令和6年1月7日(日)～3月24日(日)

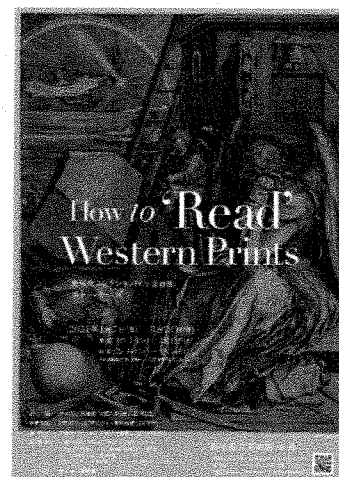
会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館

入館者数 3,072人

担 当 者 香月 比呂、山中 理彩子

内 容 第4期では、第3室にて西洋版画の小企画展「ストーリーズ 一物語る版画たち」を実施。当館のコレクションに加え、国内有数の西洋版画コレクションを擁する東京の国立西洋美術館及び町田市立国際版画美術館から作品を借用し、16世紀から近現代の西洋版画全67点(前・後期)を、主題や表現の様式によって4章に分類して紹介した。聖書の物語を描いた西洋版画黎明期の作品、オールドマスターによる複雑で機知に富んだ寓意画、小説や戯曲の世界を精緻に描き出した挿絵、そして物語に従属することをやめた独創的な近現代の作品等、当館のコレクションだけでは網羅できない範囲を他館の貴重な作品によって充足させることで、西洋版画の歴史を体系的に紹介する充実した展覧会となった。



また第1室では、細川コレクションと美術館コレクションから幕末を中心とした絵画を紹介したほか、第2室では、幕末～明治時代前期に大いに流行し、主に水墨を用いて精神性を重んじる表現を行った梶山九江らの南画や、色彩表現や造形性を追求した堅山南風らの作品を展示した。

#### 関連行事

◆学芸員によるギャラリートーク

日時：1月14日(日)、28日(日)、2月11日(日)、25日(日)、3月10日(日)、24日(日)

◆ミュージアムセミナー

日時：1月27日(土)

講師：香月 比呂(当館学芸員)

参加者数：19人



## 5 その他常設展示

### ① 浜田知明作品

- 会 期 2階コレクション展と併せて展示替え  
会 場 本館2階浜田知明室  
主 催 熊本県立美術館  
担 当 者 林田 龍太、山中 理彩子、香月 比呂  
内 容 熊本を代表する版画家・彫刻家である浜田知明の版画・彫刻作品10点程度を入れ替えながら展示した。
- 第1期(4/11~6/25)は「浜田知明という画家」と題して9点の版画作品を展示し、浜田の画業と作品世界をひも解いた。
- 第2期(7/15~9/10)は「異世界転戦」と題して、派兵先である中国・山西省での異文化体験が浜田に与えたインスピレーションをテーマに、8点を展示した。
- 第3期(9/16~12/24)は「デフォルマシオン」と題して、浜田の表現を読み解く鍵として形態の変形に着目し、8点を紹介した。
- 第4期(1/7~3/24)は「風刺、する。」と題して同時代社会への風刺的作品6点を展示した。

### ② 装飾古墳室常設展示

装飾古墳は全国で約700基確認されているが(平成30年現在)、九州の北・中部に集中的にみられ、県内には約200基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでもらっている。

平成28年4月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成29年度「本館機能強化工事」によって全国の装飾古墳情報(文字情報と画像)を検索できる端末(2台)を設置する情報スペースとした。端末はタッチパネルにより操作するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度より使用を停止していたが、令和4年度から仕様を再開した。

なお、令和3年度(2021年度)の改修工事で、展示室内の照明を一新。これまで見ることができなかった、装飾古墳の壁面や石像の文様など微妙な凹凸が感じられるようになった。

## Ⅱ 共催展

### 1 令和5年度国立美術館巡回展

#### 20世紀美術の冒険者たち—名作でたどる日本と西洋のアート

会 期 令和5年7月22日(土)～9月18日(月・祝)  
会 場 本館第1展示室  
主 催 熊本県立美術館、TKU テレビ熊本、東京国立近代美術館  
協 力 高松市美術館  
特別協賛 明治アニマルヘルス株式会社  
後 援 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本日日新聞社、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791

入館者数 7,656人

担 当 者 山中 理彩子、香月 比呂／松下 衆子、松崎 恵、永田 唯

内 容 国立美術館所蔵品の活用によって地域文化の振興を図る「国立美術館巡回展」事業の一環として開催した本展は、日本近現代美術の体系的コレクションを有する東京国立近代美術館の作品を中心に、巡回先の高松市美術館と熊本県立美術館の作品を交えて企画構成した。重要文化財2点を含む展示作品76点は、国の美術振興によって多彩な表現動向が生まれた1900年代から、自由な制作活動が抑圧された第二次世界大戦期を経て、形式に捉われない作品制作へと突き進む1960年代までの日本美術の流れに沿って展示し、日本に強い影響力を持った西洋美術を紹介するコーナーも設けた。特に、熊本で初めての展示となった藤田嗣治の戦争画《アツ島玉砕》は、新聞に取り上げられるなど強い反響があった。

本展のアンケート集計結果によると、5段階評価における「とてもよい」「よい」と回答した割合は、内容については90.6%、解説については84.8%に及び、多くの来場者が充実した鑑賞体験を得たとみられる。特に、会期中は夏休み期間にあたったことから、課題のために来訪した児童・生徒が数多く見られ、結果として大学生以下の入場者は総入場者の29.8%を占めた。

東京国立近代美術館と高松市美術館が所蔵する近現代美術の名作が集った本展は、当館で長年開催が叶わなかった「日本近現代美術入門」として、多くの若い方々を含む来場者に作品の魅力をひも解く展覧会になったといえる。



## 関連行事

### ◆子ども美術館

日時：8月6日（日）

講師：福田 友子、藤本 真緒、山中 理彩子（当館学芸員）

参加者数：23人（8家族）

### ◆手話通訳付きギャラリートーク

日時：8月12日（土）

### ◆ミュージアムセミナー

日時：8月19日（土）

講師：山中 理彩子（当館学芸員）

参加者数：38人

### ◆クロストーク

日時：8月20日（日）

講師：姜 尚中 氏（熊本県立劇場館長）、

三輪 健仁 氏（東京国立近代美術館美術課長）

参加者数：72人

### ◆学芸員によるギャラリートーク

日時：7月29日（土）、8月26日（土）、9月9日（土）

## 2 美をつくし～大阪市立美術館名品展

会 期 令和5年9月16日(土)～11月12日(日)  
会 場 本館第2展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送  
企画協力 大阪市立美術館、毎日新聞社  
特別協賛 肥後銀行  
後 援 熊本市、熊本県文化協会、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791  
入館者数 7,358人  
担 当 者 金子 岳史、才藤 あずさ／坂本 幸陽、松崎 恵  
内 容

大阪市立美術館は、東京・京都に続く全国で三番目の公立美術館として昭和11年(1936)5月に開館した。美術館本館建物は戦前の大型美術館の貴重な例として、現在登録有形文化財に登録されている。大阪市立美術館のコレクションは、多くの方々の支援によって築き上げられてきた。8500件以上にのぼる所蔵作品は、日本・中国の絵画・書蹟・彫刻・工芸など多岐にわたり、関西を中心に活躍した財界人らが収集したコレクションをまとめて所蔵する点に特徴がある。

「美をつくし」展は、大阪市立美術館が開館90周年を迎えるのを前に大規模な改修工事を行うため令和4年(2022)から同7年にかけて休館することに伴い企画されたもので、所蔵品の各分野から厳選された約150点の優品を紹介する。なお、展覧会名の「美をつくし」は大阪市章でもある湊標(みおつくし:船が往来するときの目印)になぞらえたものである。



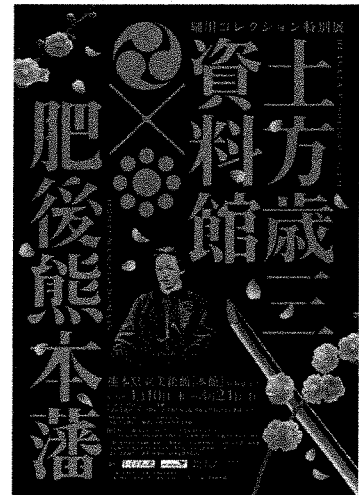
### 関連行事

- ◆学芸員によるギャラリートーク  
日時：9月24日(日)、10月8日(日)、22日(日)、11月20日(日)
- ◆手話通訳付きギャラリートーク  
日時：10月30日(月)
- ◆子ども美術館  
日時：11月3日(金・祝)  
講師：福田 友子、金子 岳史、藤本 真緒(当館学芸員)  
参加人数：31人
- ◆ミュージアムセミナー  
日時：11月4日(土)  
講師：金子 岳史(当館学芸員)  
参加人数：26人

### 3 細川コレクション特別展 土方歳三資料館×肥後熊本藩

- 会 期 令和6年1月10日(水)～3月24日(日)
- 会 場 本館別棟展示室
- 主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
- 共 催 土方歳三資料館
- 特別協力 公益財団法人永青文庫、熊本大学永青文庫研究センター
- 協 力 肥後銀行
- 後 援 山鹿市、山鹿市教育委員会
- 協 賛 株式会社 磯崎工務店、株式会社 サトウロジック、株式会社 日創アーキテクト、  
株式会社 緑研、有限会社 浜料理 侍
- 入館者数 13,532人
- 担 当 者 展覧会：宮川 聖子、才藤 あずさ  
グッズ制作：松崎 恵、宮川 聖子  
教育普及：福田 友子、藤本 真緒、宮川 聖子

内 容 東京都日野市にある土方歳三資料館は、全国各地から絶え間なく生家を訪れる方々の「遺品や史料の公開を」という強い要望に応える形で、平成6年(1994年)に開館。本展では、同館の所蔵品を中心に、激動の幕末維新期を駆け抜けた“新選組副長・土方歳三”の軌跡をご紹介した。展示室では歳三ゆかりの品々35件に、熊本藩に関わる史資料等30件を加えて、適宜展示替えを実施しながら合計65件の文化財を紹介した。このうち最期の瞬間をともした《刀 銘 和泉守兼定》は歳三の愛刀として名高く、また九州で初めての新選組に関する特別展であったため、別棟開館以来、最多の入館者数を記録した。



さらに、新選組の屯所があった壬生寺付近に、熊本藩が陣営を置き、京都警衛にあたっていたことや、熊本出身の新選組隊士・尾形俊太郎らが活躍していた史実はあまり知られておらず、こういった熊本藩と新選組にまつわる歴史を、永青文庫所蔵の肥後熊本藩の記録した古文書等から紐解いて紹介した。展覧会準備に際して実施した調査や研究の成果は、展覧会図録『土方歳三資料館×肥後熊本藩』にまとめて刊行した。

教育普及面では、土方歳三資料館館長の土方愛氏及び新選組研究の第一人者である中村武生氏を招聘し、特別講演会を実施した。また歳三の生家の家伝薬である石田散薬の製造体験会や、新選組袖章をモチーフにしたプラ板とレジンを使用したワークショップも開催し、全てのイベントが大盛況であった。

会場づくりや広報についても、これまで以上に注力した。ひとつは展覧会オリジナルグッズを多数制作したことである。クリアファイルや和泉守兼定の一筆箋、土方歳三肖像写真レプリカ(アクリルスタンド)、石田散薬巾着(バッジ付き)、石田散薬トートバック(熊本限定版)、マスキングテープ3種、新選組くまモンア

クリルキーホルダーを制作し、特設のミュージアムショップで販売した。いずれも好評であり、集客に大きく貢献した。

また前年度から広報活動にも積極的に力を入れ、X（旧 Twitter）を活用した初回ポストは43万回以上表示された。加えて、会場外に撮影用の①和泉守兼定及び拵のパネル、②新選組の羽織を設置したところ、多くの観覧者に喜ばれ、SNS等への投稿によって更なる集客へと繋がった。

このような展覧会の意図や教育普及、会場づくり、広報等の効果もあって、会期中は予想以上の観覧者にご来館いただくことができ、近年稀にみる成果となった。

#### 関連行事

##### ◆特別講演会

日時：1月10日（水）

演題：「子孫が語る土方歳三と新選組」

講師：土方 愛 氏（土方歳三資料館館長）

参加者数：87人

##### ◆ワークショップ プラ板&レジンで新選組袖章アクセサリーをつくろう！

日時：1月19日（金）

講師：福田友子、藤本真緒（当館学芸員）

参加者数：50人

##### ◆特別講演会

日時：2月11日（日）

演題：「池田屋事件と細川家一なにを知ろうとしたか、どう動いたか」

講師：中村 武生 氏（京都女子大学講師）

参加者数：77人

##### ◆ワークショップ 熊本出張！石田散薬製造体験会

日時：2月12日（月）

講師：土方愛氏（土方歳三資料館館長）、市川三千代氏

参加者数：72人

##### ◆ミュージアムセミナー

日時：3月2日（土）

講師：宮川 聖子（当館学芸員）

参加者数：53人

## 4 <sup>き</sup>生の芸術 <sup>アール ブリュット</sup> Art Brut 展覧会 vol.9

令和6年1月24日(水)～2月4日(日)

会 場 本館第1展示室(1・2室)

主 催 アール・ブリュット(生の芸術)パートナーズ熊本

共 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、社会福祉法人愛隣園

入館者数 3,420人

担 当 者 福田 友子、山中 理彩子

内 容 本展は、「誰に教わったわけでもない。熊本が育んだ魂の表現」をテーマに、日本を代表するアール・ブリュット作家・松本寛庸氏と藤岡祐機<sup>ひろのぶ</sup>氏の作品をはじめ、障がいをもつ熊本県在住の作家24人による作品を展示。さらに友情出品として韓国から3人の作家の作品を展示。作家にとって県立美術館での展示は、作品を通じた交流の場であり、認められる喜びが創作意欲や自立へとつながっている。新作にとどまらず過去の作品を織り交ぜ展示することで、彼らの表現をより深く味わっていただく機会とする。また、特別展示として当館所蔵ジャン・デュビュッフェの版画作品を4点展示。

## IV アウトリーチ事業（巡回展・スクールミュージアム）

### 1 スクールミュージアム

会 期 10月～12月（10校、6か所）

主 催 熊本県立美術館

観覧者数 383人

担 当 者 福田 友子、藤本 真緒、当館学芸員

内 容 当館では、平成18年から県内の学校を対象とした教育普及活動として、美術館の収蔵品を学校に持参して展示・授業をおこなう「スクールミュージアム」を開催してきた。この事業は、活動を通して子どもたちの芸術や文化を愛好する心を育むとともに、地域にひろく美術鑑賞の機会を設けることを目的とする。令和5年度は、下記の県内10校（6か所）の学校で実施した。展示作品は、浜田知明、マルク・シャガールの版画作品と原版。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者集	保護者等 参加者数	合計
10月11日(水)	八代市立泉小学校・中学校	49	12	11	72
10月25日(水)	玉名市立豊水小学校・保育園	55	11	7	73
10月27日(金)	上天草市立姫戸小学校・中学校	39	15	15	69
11月7日(火)	上天草市立維和小学校	39	8	5	52
11月22日(水)	水俣市立湯出小学校	26	11	27	64
12月8日(金)	五木村立五木中学校・人吉分校	25	13	15	53
総計	10校	233	70	80	383

### 2 ミュージアムバス

県立美術館から遠隔地にあり、県立美術館へ来る機会が少ない県内の小中学校を、美術館へ招待するシャトルバス事業。令和4年度は、「令和2年7月豪雨」で被災した八代・人吉・球磨地域。令和5年度は、主に阿蘇地域を招待した。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者集	合計
7月25日(火)	阿蘇郡南小国町立りんどうヶ丘小学校	30	4	34
9月12日(火)	南小国町立中原小学校	39	7	46
11月10日(金)	小国町立小国小学校	39	3	42
3月15日(金)	山鹿市立鹿本中学校	67	6	73
総計	4校	175	20	195



## V その他の活動

### 1 特別開館日（旧名称：障がいのある方々のための鑑賞デー）

障がいのある方々にゆっくりと展覧会をご観覧いただく日として、介助サポートのためのボランティアスタッフを配置している。また、手話通訳者による手話を付けて学芸員の解説を行っている。

（日程） （手話通訳付き解説を行った展覧会）

8月12日（土） 20世紀美術の冒険者たち—名作でたどる日本と西洋のアート

10月30日（月） 美をつくし—大阪市立美術館コレクション

### 2 展覧会広報事業

#### （1）印刷物及びインターネットによる広報

- ・ 展覧会スケジュール、展覧会のポスター・チラシ、美術館情報誌「View（年4回発行）」などの印刷物による広報及び各種情報誌・ウェブサイトへの展覧会情報掲載。
- ・ ホームページ、x（旧 Twitter）、Instagram、YouTube 等インターネットによる広報
- ・ その他情報誌紙（WEB 含む）無料掲載多数
- ・ 県広報グループ等を通しての広報（県政広報ラジオ・テレビ番組「県からのお知らせ」コーナー、報道資料の投込、庁舎内でのポスター掲示、県庁地下通路展示、等）

#### （2）各種メディア等による広報（共催展等を除く）

- ・ RKK熊本放送ラジオ・テレビ広告（2展覧会）
- ・ くまにちすぱいす（熊本日日新聞社発行フリーペーパー）広告（1展覧会）

#### （3）周辺施設等との連携による広報

- ・ 熊本城無料シャトルバス、熊本城周遊バス（しろめぐりん）、城彩苑 広告掲出
- ・ 近隣施設（主要宿泊施設・文化施設・観光施設・神社・病院等）の協力によるポスター掲示、チラシ掲出
- ・ わくわく座、熊本城おもてなし武将隊とSNSによる展覧会告知

#### （4）コロナ禍終息後のインバウンド復活に向けた広報事業展開

- ・ ホームページの外国語ページ（英語）による、展覧会等の情報を掲載
- ・ 年間スケジュールの多言語版（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）の作成

### 3 インターネット美術館の推進

(1) 新型コロナウイルス感染症対応を契機とした「おうちで美術館」等の展開  
自宅でも美術館を楽しんでもらうための事業「おうちで美術館」として、以下のコンテンツを当館ホームページ、x（旧 Twitter）、Instagram、YouTube で配信した。フォロワー数は X（旧 Twitter）6,304 人、Instagram1,542 人※R5.12.31 現在。

- ・ 熊本県立美術館が所蔵する作品をぬりえにした「美術館ぬりえ」
- ・ YouTube の「熊本県立美術館公式チャンネル」で、ガバメントクラウドファンディング®で修復費の寄付が呼びかけられた横山大観《雲去来》の高精細画像を使用した動画「4K でイッピン！ 2 横山大観《雲去来》」、「今日から君もアーティスト！」シリーズ動画 8 件、「アートカードの遊び方」、「プラ板&レジンでキーホルダーを作ろう！」、展示作業風景の動画「展覧会準備中！」を公開。

#### (2) 収蔵品データベースの整備

- ・ 当館ホームページが県庁ホームページに統合されるのに伴い、これまで HP 内で公開していた収蔵品データベースを令和 2 年度に新システムに移行。
- ・ 新データベースでは、コレクションの一般公開に加え、美術品管理台帳の出力や画像の管理、貸出状況の確認など、美術館内部における管理システムの拡充を図る。
- ・ 令和 2 年 11 月より、新データベースによる収蔵品の公開を開始（現状は 4,945 件）。

#### (3) ポケット学芸員の導入

- ・ データベース移行に付随して、あらかじめ登録した美術品の画像や解説をスマートフォンで閲覧できる「ポケット学芸員」を導入。令和 2 年 11 月より一部作品の公開をおこなった。
- ・ 今後、美術品の展示状況や、データベースの更新状況に合わせ公開数を拡大する（現状 172 点を公開）。

### 4 地域や他施設等との共働事業

#### 美術館おやこ無料デー」の実施

「教育・文化週間」、「くまもと教育の日」の趣旨に添い、高校生以下の子ども保護者（子ども 1 名につき保護者 2 名まで、妊娠中の女性とパートナーも含む）の入館料を無料とする「美術館おやこ無料デー」を実施した。

実施日：令和 5 年（2023 年）11 月 3 日（木・祝）

観覧者数：本館 141 人（うち高校生以下 49 人、保護者等 92 人）

別棟 70 人（うち高校生以下 21 人、保護者等 49 人）

## イ 入場者数等の推移について

年 度	主催・共催展			貸 会 場			計		
	回数	日数	入場者数	回数	日数	入場者数	回数	日数	入場者数
平成26年度	24	736	101,242	163	1,050	274,295	187	1,786	375,537
平成27年度※1	21	586	82,968	123	801	214,023	144	1,387	296,991
平成28年度※2	26	316	45,880	95	586	97,932	121	902	143,812
平成29年度※3	22	430	101,147	104	667	173,631	126	1,097	274,778
平成30年度※4	25	642	115,013	148	1,255	209,691	173	1,897	324,704
令和元年度※5	90	631	66,464	144	1,125	169,125	234	1,756	235,589
令和2年度※6	46	513	33,008	39	246	35,577	85	759	68,585
令和3年度※7	30	343	43,513	81	687	90,694	111	1,030	134,207
令和4年度	37	717	266,268	116	704	139,097	153	1,421	405,365
令和5年度	16	589	48,459	100	653	107,168	116	1,242	155,627

※貸会場は分館入場者数を含む

※令和元年度～令和4年度の「主催・共催等」の回数・日数・入場者には、特別講演会・子ども美術館等の参加者数を含む

◎令和元年度 本館入館者数 73,051（玄関カウンター）

◎令和2年度 本館入館者数 62,396（玄関カウンター）

◎令和3年度 本館入館者数 30,517（玄関カウンター）

※令和4年度以降は玄関カウンター不具合のため、本館入館者数は不明

※1 平成27年度 第一次改修工事による臨時休館（12/28～3/31）

※2 平成28年度 第二次改修工事による臨時休館（10/11～2/10 ※2/11～3/26は別棟のみ開館）

※3 平成29年度 第三次改修工事による臨時休館（11/13～3/31）

※4 平成30年度 第三次改修工事による臨時休館（4/1～4/26）

※5 令和元年度 第四次改修工事及び新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（12/16～3/31 ※1/8～2/27は別棟のみ開館）

※6 令和2年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（4/1～5/6）  
分館改修工事による臨時休館（5/11～11/30）。この期間の分館開催予定団体展等は、本館にて開催予定だったが、コロナ感染症拡大のためほとんどが中止となった。

※7 令和3年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（4/24～6/28）  
本館改修工事による臨時休館（9/13～12月末）

## ウ 教育普及活動について

### ① 子ども美術館（実施場所：文化交流室及び展覧会場他、時間：10:30～12:00）

期 日	関連展覧会	参加者数 事前募集、定員制
8月6日（日）	20世紀美術の冒険者たち	23
11月3日（金・祝）	美をつくし	31

### ② おしゃべり鑑賞タイム（実施場所：展覧会場 10:00～13:00）

期 日	テーマ
5月7日（日）	10時から13時までの3時間を「おしゃべりしながら鑑賞できる」時間帯とするものです。ご家族やお友達とお話ししながら鑑賞を楽しめます。
6月18日（日）	
8月6日（日）	
11月3日（金・祝）	
12月17日（日）	

### ③ 特別講演会（実施場所：文化交流室、時間 13:30～15:00）

期 日	関連展覧会	参加者数
1月10日（水）	土方歳三資料館×肥後熊本藩 （講師：土方歳三資料館館長 土方 愛 氏）	87
2月11日（日）	土方歳三資料館×肥後熊本藩 （講師：京都女子大学講師 中村 武生 氏）	77

### ④ クロストーク（実施場所：吹き抜けホール、時間 14:00～15:00）

期 日	関連展覧会	参加者数
8月20日（日）	20世紀美術の冒険者たち （登壇者：熊本県立劇場館長 姜 尚中 氏、東京国立近代美術館美術課長 三輪 健仁 氏）	72

### ⑤ ミュージウムセミナー（実施場所：文化交流室、時間 13:30～14:30）

期 日	関連展覧会	講 師	参加者数
5月20日（土）	熊本の工芸	学芸員 才藤 あずさ	30
8月19日（土）	20世紀美術の冒険者たち	学芸員 山中 理彩子	38
11月4日（土）	美をつくし	学芸員 金子 岳史	26
12月9日（土）	金石之交	学芸員 萬納 恵介	14
1月27日（土）	ストーリーズー物語る版画たち	学芸員 香月 比呂	19
3月2日（土）	土方歳三資料館×肥後熊本藩	学芸員 宮川 聖子	53

⑥ おわったアートのポスターさしあげます(実施場所:文化交流室、時間 10:00~16:00)

期 日	内 容
8月27日(日)	2022年に全国で開催された展覧会ポスターを無料配布。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせていた2020~2021年開催分の展覧会ポスターも配布。ポスターで、ペーパーバックをつくるコーナーも設けた。

⑦ かぞくでアート☆(実施場所:文化交流室及び展覧会場他、時間:10:30~12:00)

期日	内容	参加者数 事前募集、定員制
5月7日(日)	当館所蔵品をカードにした「アートカード」を使って、家族で楽しく鑑賞ゲームを行い、美術鑑賞に親しむ機会とする。ゲームの後は、バックヤードツアーやミニミニ美術館制作を実施した。	22
6月19日(日)		25
12月17日(日)		10

⑧ 特別展関連イベント及びその他ワークショップ (実施場所:文化交流室 他)

期 日	関連展覧会		参加者数
9月16日(土) ~18日(月・祝)	20世紀美術の冒険者たち 細川コレクション 二の丸☆ バードウォッチング! 美をつくし	大人が楽しむトリプルデー☆缶 バッチプレゼント	238
1月19日(金)	土方歳三資料館×肥後熊本藩	「プラ板&レジンで新選組袖章 アクセサリをつくろう!」	50
2月12日 (月・祝)	土方歳三資料館×肥後熊本藩	土方歳三資料館×肥後熊本藩 熊本出張!石田散薬体験会	72

⑨ 鑑賞教材「熊本県立美術館アートカード」の作成と活用 ※令和4年10月2日発行

(1) 鑑賞教材「熊本県立美術館アートカード」を活用したイベント・研修

- ・美術鑑賞ワークショップ「かぞくでアート☆」
- ・先生のための鑑賞プログラム
- ・教員向け研修「教員のための博物館の日」(主催:博物館ネットワークセンター)
- ・熊本県立初任者研修(主催:熊本県教育センター)
- ・熊本県図工美術研究会夏季研修(主催:熊本県図工美術研究会)
- ・図工美術研究会九州大会(主催:熊本県図工美術研究会)
- ・上天草市図工美術研究会夏季研修(主催:上天草市図工美術研究会)

(2) 学校での活用

- ・アートカード・セットの貸し出し(鑑賞の授業や来館前の事前学習での活用)
- ・関連ワークシートの提供

⑩ 展覧会に合わせたワークシート等の作成・配布

関連展覧会	内容
細川コレクション 二の丸☆バードウォッチング!	二の丸☆バードウォッチングワークシート
20世紀美術の冒険者たち	こどもセルフガイド
美をつくしー大阪市立美術館コレクション	豆本 根付図鑑
美術館コレクションⅢ	気になる「かたち」ビンゴ
美術館コレクションⅣ 小企画展 西洋版画をよむ	豆本 西洋版画コレクション
共通で利用可	豆本 熊本県立美術館建物紹介
共通で利用可	豆本 肥後熊本藩主 細川家歴代肖像

⑪ その他

- ・特別講演会
- ・ギャラリートーク
- ・学校団体利用の対応

⑩ 令和5年度講座（職員が講師として参加）

	期日	内容	担当者	場所	
講 座 等	1	8月2日(水)	教員のための博物館の日 in 御船	福田友子 藤本真緒	御船町カルチャーセンター
	2	8月4日(金)	図工美術研究会夏季研修	福田友子 藤本真緒	熊本市立桜木中学校
	3	8月21日(月)	上天草市図工美術研究会夏季研修	福田友子	上天草市立大矢野中学校
	4	9月26日(火)	さわやか大学校(八代校)講演 「仏教美術の歴史と肥後の武士」	萬納恵介	桜十字ホールやつしる
	5	9月28日(木)	さわやか大学校(熊本校)講演 「仏教美術の歴史と肥後の武士」	萬納恵介	熊本県総合福祉センター
	6	11月17日(金)	図工美術研究会九州大会	福田友子 藤本真緒	熊本県民交流館パレア
	7	1月27日(土)	よみうりカルチャー主催 連続講座「歳三子孫のあの人に会いたい」において講演 「細川家文書にみる新選組関連記事についての一考察」	宮川 聖子	読売新聞東京本社内「新聞教室」
	8	2月26日(月)	熊本グリーンロータリークラブ創立記念総会において講演 「細川家文書にみる新選組関連記事についての一考察」	宮川 聖子	熊本ホテルキャッスル

⑪ 専門性向上のための研修参加状況

	期日	内容	担当者	場所
研修等	8月7日(月) ～8日(火)	令和5年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	藤本真緒	国立国際美術館 大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)

⑫ 令和5年度 学芸員資格取得課程実習(博物館実習)

期日	学校・人数	内容	担当
8月24日(木) ～8月30日 (水)	熊本大学・崇城大学・佐賀大学・神戸大学(9人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の機能、運営等に関する講義</li> <li>・作品の調査法と取り扱いの実習</li> <li>・展覧会企画に関する講義と実習</li> <li>・当館イベントの補助と参加実習</li> <li>・展覧会企画のプレゼンテーション</li> </ul>	宮川聖子他 関係職員

## エ 美術品収集について

### 寄贈作品

	作品名	作者名	品質形状	寸法 (cm)	制作年
1	脇指 銘延寿国幸行 年七十七歳／天保十 一年二月日八代於丹 羽氏宅造之	延寿国幸	鉄鍛造	刃長 33.3cm	天保 11 年 (1840)
2	刀 銘延寿国幸七十 七歳於八代造之／天 保十一年十一月日	延寿国幸	鉄鍛造	刃長 65.7cm	天保 11 年 (1840)
3	中華門戦跡	瀬野覚蔵	油彩・キャンバ ス	72.7×91.2	昭和 13 年 (1938)
4	弾薬輸送	高田廣喜 (川名廣喜)	油彩・キャンバ ス	53.0×72.7	昭和 15 年 (1940)
5	海老原美術研究所 会員之証	海老原 美術研究所	印刷・紙	6.0×8.9	昭和 26 年 (1951)
6	夏の八方ヶ岳	大塚耕二	油彩・板	50.0×60.5	昭和 15 年頃 (C.1940)
7	阿蘇風景 (仮称)	青木彝蔵	油彩・キャンバ ス	30.7×39.6	昭和 12 年 (1937)
8	時化の後	石井了介	木版・紙	58.1×39.7	昭和 17 年以降 (1942 以降)
9	母の里	石井了介	木版・紙	26.7×24.0	昭和 12 年 (1937)
10	母性 (Maternité)	ジャック・ヴ イヨン (パブロ・ピカ ソの原画にも とづく)	エッチング、ア クアチント・紙	64.1×41.3	1930 年



令和5年度（2023年度）熊本県立美術館収集委員会 委員名簿

※各分野氏名五十音順

	専門分野	氏名	役職
1	日本・東洋古美術分野 (含む日本歴史)	今村 直樹	熊本大学附属永青文庫研究センター 准教授
2	同上	竹原 明理	熊本市立熊本博物館 学芸員
3	同上	中山 喜一郎	福岡市美術館 総館長
4	近現代美術分野	中村 賢次	崇城大学芸術学部 教授・日本画家
5	同上	森山 秀子	久留米市美術館 副館長兼学芸課長
6	同上	山下 弘子	坂本善三美術館 学芸員
7	西洋美術分野	石井 祐子	九州大学基幹教育院 人文社会科学部門 准教授
8	同上	竹口 浩司	広島市現代美術館 学芸担当課長
就任依頼期間		令和4年（2022年）8月1日から 令和6年（2024年）7月31日（2ヶ年）	

## 収蔵品貸出状況

令和5年度資料貸出の記録。本リストには寄託品を含めない。

作品名	貸出先	展覧会名称	展覧会会期
上妻利弘《SEIMEI》	肥後の里山ギャラリー	「熊本の現代作家展Ⅷ 上妻利弘展 SEIMEI」	令和5年 3月13日～6月3日
アントニ・タピエス《ふるい》	長崎県美術館	「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」	令和5年 4月8日～6月11日
堅山南風《霜月頃》	八代市立博物館	「日本画の巨匠 堅山南風展」	令和5年4月21日 ～6月4日
堅山南風《熱国図巻》			
堅山南風《争魚》			
堅山南風《十六羅漢》			
堅山南風《四季草花図訪問着》			
堅山南風《武者小路先生》			
堅山南風《横山大観先生》			
堅山南風《彩桃》			
堅山南風《肥後菖蒲》			
堅山南風《紫陽花》			
堅山南風《新涼雅品》			
堅山南風《画冊》			
堅山南風《寄せがき》			
近藤樵仙《宮本武蔵肖像》	下関市立歴史博物館	「巖流島—そして、島は決闘の聖地となった—」	令和5年10月6日 ～12月3日
《宮本武蔵肖像》			
宮本武蔵《独行道》			
宮本武蔵《五方之太刀道》			
矢野吉重《松に虎・竹に虎図屏風》	大分県立歴史博物館	「竹ものがたり」	令和5年10月20日 ～11月26日
大塚耕二《トリリート》	京都文化博物館 板橋区立美術館 三重県立美術館	「シュルレアリスムと日本」	京都国立博物館 令和5年12月16日 ～令和6年2月4日 板橋区立美術館 令和6年3月2日 ～4月14日 三重県立美術館 令和6年4月27日 ～6月30日
浜田知明《聖馬》			
浜田知明《人》			
浜田知明《初年兵哀歌—風景（一隅）》			
『みづゑ臨時増刊海外超現実主義作品集』			

作品名	貸出先	展覧会名称	展覧会会期
巴螺銅鞍	八代市立博物館	武将の備え ～八代城主松井家 の武器と武具～	令和6年2月9日 ～3月3日



## オ 永青文庫振興基金事業について

○県立美術館の永青文庫常設展示の充実を図り、文化の振興を図ることを目的に、平成20年3月に永青文庫常設展示振興基金（以下、「基金」）が設立された。この基金を活用して、本県にある永青文庫の所蔵品の調査・修復を実施している。

### I 「修復事業」について

#### (1) 修復事業の目的

永青文庫所蔵資料（県美「寄託品」及び「預かり品」等）のうち、優れた美術品であるものの、経年変化等により損傷を被っているため展示困難なものを修復することにより熊本県立美術館での展覧会事業に活用することを目的とする。

#### (2) これまでの修復実績

	年度	作品名	実績額 (千円)	修復後の主な展示実績 (県美公開分を中心に)
1	平成20年度	細川忠利所用《頭形兜》 <small>すなりかぶと</small>	1,980	「細川家のよろいの美展(H22)」 「開館40周年記念展(H25)」
2	平成21年度	細川幽齋所用 《紅糸威腹巻》	3,906	「細川幽齋展(H22)」 「信長からの手紙展(H27)」
3	平成22年度	①《帝鑑図屏風》 ②《狩獵図》4幅対	22,446	「雪舟流と狩野派展(H28)」 「開館40周年・リターン展(H29)」
4	平成22～23 年度継続	《山路図》 (横山大観筆)	4,624	「大観と春草展(H25)」 「開館40周年・リターン展(H29)」
5	同上	《月影》 (上村松園筆)		「大観と春草展(H25)」 「開館40周年記念展(H25)」
6	同上	《西王母・琴高仙人図屏風》	10,796	「修復完了記念・細川コレ展(H25)」 「雪舟流と狩野派」(H28)」
7	平成23～24 年度継続	《竹林七賢図屏風》	9,835	「修復完了記念・細川コレ展(H26)」 「雪舟流と狩野派展(H28)」
8	平成24年度	細川忠興所用 《黒糸威二枚胴具足》	2,835	「開館40周年記念展(H25)」 「信長からの手紙展」(H26)
9	平成26～27 年度継続	《源氏物語扇面貼交屏風》	10,776	「雪舟流と狩野派展(H28)」
10	同上	《細川三斎像》	1,905	「ザ・家老展(八代市博H30)」
11	同上	《細川忠利像》(沢庵宗彭賛)	2,095	「細川ガラシャ展(H30)」
(平成28～30年度は、熊本地震被災対応のため修復なし)				

	年度	作品名	実績額 (千円)	修復後の主な展示実績 (県美公開分を中心に)
12	令和元～2 年度継続	《細川忠利像》(大淵玄弘賛)	2,334	「よみがえった名宝 (R2)」
13	令和3～4年 度継続	《一の谷・屋島合戦図屏風》	12,191	「美術館コレクションⅡ (R5)」
	総計額		85,723	

### (3) 令和5年度の修復実績

《桐九曜紋唐草蒔絵鞍・鐙》の修復を行い、令和5年度末に修復を完了した。  
修復金額 5,019 千円。

### (4) 令和5年度のその他の事業実績

細川忠興所用《黒糸威二枚胴具足》のレプリカ(2領)を活用した甲冑の着用体験の出前講座を県内の小学校1校で実験的に実施した。

## カ 改修工事について

当館は、令和6年3月で築49年目を迎え、施設・設備は老朽化が進んでいる状況である。そのため、美術品の適正な保管環境と来館者の安全確保及び施設の保全・長寿命化を目的とし、改修工事を実施してきた。

なお、令和5年度実施分については、令和4年度からの繰越事業として令和6年度実施予定工事の設計委託を実施した。

なお、設計委託内容については、以下のとおり。

	設計委託内容
令和5年度	①増築棟・荷解き場防水工事 ②増築棟エレベータ改修工事 ③増築棟ヒートポンプチラー改修工事